

4月のアルミレポート及び5月の見通し (3)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



輸出推移

アルミ輸出推移



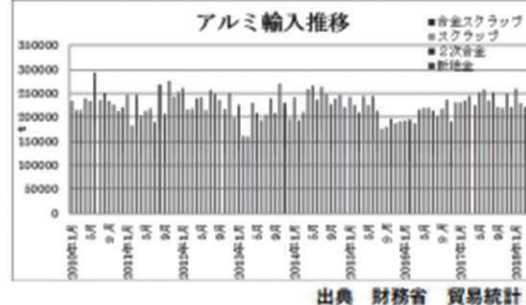
輸入

輸入は新地金が前年比-17.2%の11万675 t、二次合金が+0.5%の11万654 t、スクラップが-22.6%の534 t、合金スクラップは-13.7%の3815 t。

輸入	1月	2月	3月
新地金	14万5857 t	13万232 t	11万675 t
前年比	-19.7%	-6.2%	-17.2%
二次合金	11万19426 t	9万8216 t	11万654 t
前年比	+3.9%	+3.1%	+0.5%
スクラップ	675 t	779 t	534 t
前年比	+11.0%	+44.1%	-22.6%
合金スクラップ	4677 t	4143 t	3815 t
前年比	+21.5%	+17.0%	-13.7%

輸入推移

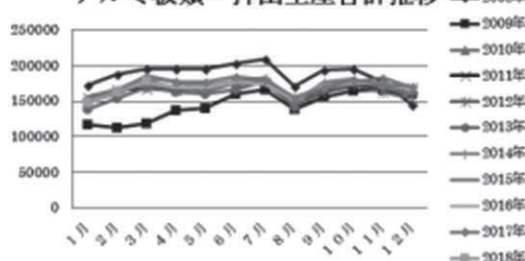
アルミ輸入推移



■前月の国内指標

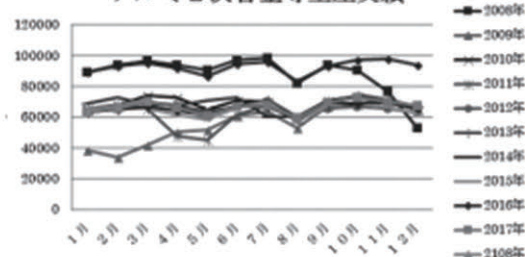
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-3%、17万895 t、3カ月連続マイナス。

アルミ板類・押出生産合計推移



日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績は、前年比+1.6%の7万1514 tであった。

アルミ2次合金等生産実績



バックナンバーは下記のサイトで閲覧できます。

dailiesmetal.com



国内唯一のアルミニウム合金製道路橋「金慶橋」が昨年度の「選奨土木遺産」に ～記念講演会と見学会レポート (3)～

特に耐久性調査の結果については、経過年数ごとの外観写真を見せながら、ほとんど異常がないことを詳細に示した。

続いてマイクロバスで現地に向かった。伊藤氏と一行は、橋の下に降りて実際の橋桁の裏面を見ながら、良好な状態であることを確認。参加者はわずかなクラック以外はほとんど無傷の、ほぼ架橋当時のままの鈍い銀色の姿に驚いていた。

《取材後記》

軽量で錆びず、加工性もよく美しいアルミ。日常生活のあらゆる場面で活躍のアルミだが、重厚長大のイメージはなかった。だが今回、金慶橋を取材してその認識が変わった。大重量の車両が多数往来する道路をしっかりと支える、頼もしい力持ちの一面も持っていたのだ。アルミの新たな可能性を感じた。(山中)



橋の構造と状態を説明する伊藤氏

【～記念講演と見学会レポート～終了】